

2510-ITSUMONIRO

音楽劇『いつものイロ』

image

基礎情報			
001	入力日	2026/2/12	
002	登録ID	2510-ITSUMONIRO	
003	作品正式名称	音楽劇『いつものイロ』	
004	作品形態	音楽劇	
005	発表年月	2025年10月	
006	制作概要	富士吉田市内小学校 芸術鑑賞会用に書きおろされたオリジナル音楽劇。2026年2月にアドブレーン・共立・NTTファシリティーズ共同事業体のアウトリーチプログラムとして甲府市内の老人福祉施設にて上演。	
007	初演時情報	クローズ公演につき、資料は「(ARC-C) 作品資料」として保管	

著作物情報①[権利者の表示]			
008	ラベル	著作物①	著作物②
009	著作物種類	上演台本	上演楽譜
010	著作者種別	脚本・作詞	作曲
011	著作者	中原和樹	伊藤駿
012	権利管理状況	著作者自身が管理	著作者自身が管理
013	格納形態	紙/PDFデータ	紙/PDFデータ

著作物情報②[作品の形態]			
014	作品概要（あらすじ等）	第二次世界大戦中のアメリカを舞台とする。米国太平洋地域統合情報センター（JICPOA）内にて、戦争プロパガンダ（宣伝）担当部署で働く女性二人が、ある日上層部からの要請に応じて新作戦を思い付く。それは日本人の士気を下げるために「富士山をベンキで真っ黒にする」というものであった。作戦実施のために二人は資料を集め、富士山についてのリサーチを進めるが、日本人にとっての富士山という存在の大きさ、そして文化的意義を知り、その作戦を取り下げる決断をする。その結果、女性一人（上司）は、宣伝部署を去ることとなる。 アメリカ側から見た日本を描くことで、日本にとっての富士山、そして戦争における平和とは、ということを問う作品。反戦というメッセージを軸に、ユーモアとライトな切り口で人間の矛盾と葛藤、そして暖かさを描く。	
015	作品ジャンル	音楽劇	
016	上演形態	2名の演者による演技および歌唱、1名のピアニストによる音楽伴奏	
017	上演構成	上演時間約50分/全7曲	
018	備考	ピアノや電子ピアノの使用が前提となる	
019	キーワード	戦後80年、2人ミュージカル、富士山	

著作者メッセージ			
	中原和樹（脚本・作詞）	反戦と一言にまとめる事は難しく、そこには様々な想いが存在するかと考えます。この作品においては、戦争という手段そのものが暴力やいのちという事柄に密接であり、だからこそ決して正当化してはいけないという想いから出発しています。そして物語を紡ぐ中で、古くから日本で信仰と畏怖の対象であった富士山は、昔も今も、日本に住む人々や日本そのものをどう見てきているのだろうという素直な問い合わせが生まれ、自然と作品の軸となっていました。 とは言え、この作品は決して日本を盲目的に賛美・崇拝することを目指していません。また、アメリカや諸外国の行為・歴史・人々・文化等を貶めることや非難することも目的ではありません。人々、人々間や自然の「いのち」、そして生活、風景、平和、そういう尊いものから目を逸らさず、大事なものであると認め、しっかりと愛することを諦めないための作品だと思っていただけると幸いです。	
	伊藤駿（作曲）	編成も時間もコンパクトな分、3名の動きは濃密です。音楽のスタイルも楽曲ごと、あるいは楽曲中も様々に変化するので音楽的にはかなり「忙しい」と思います。その点では譜読みが難しく感じるかもしれません、ぜひ楽しみながら取り組んでいただけたら幸いです。 舞台は80年以上前ですが、私たちの目の前にある間に向き合う作品だと感じています。作品の要素の一つである「プロパガンダ」において、音楽はいつの時代も、その内容の如何にかかわらず密接に関わっています。本作の楽曲は、その「事実」は否定せず、その作用を作品の中に生きる人物達の心を想像してもらうために活かそうと思いながら制作しました。ここにある7曲が、作品の問い合わせに対して、皆様と共に考える存在であることを願っています。	

2510-ITSUMONIRO

音楽劇『いつものイロ』

著作物利用規則

020	利用レベル	オープンソース（無料利用・条件下での改変可）
021	利用レベル説明	作品を広く利用いただけるよう、著作物は提供の上、条件内で無料でお使いいただけます。
022	利用料金	無料（利用にあたり、著作者から利用者への請求は発生しません）
023	著作物の共有方法	利用希望者には著作物①、②をデータで送付します。
024	著作物利用者の制限	ミルケ・アーカイブス作品利用者条件を満たす個人・団体
025	複数構成著作物の扱いについて	著作物①と②は統合された著作物です。必ず両方を使用してください。上演にあたり別の著作物と組み合わせて使用することはできません（例：台本を使用しながら音楽は別の作品を使用する、またその逆等）。
026	著作物の「利用」について	演劇や音楽の練習や上演において、本著作物を利用することができます。
027	著作物の「複製」について	利用者間による著作物①、②の印刷・データ共有を許諾します。 ※著作物①、②の利用者による「公開」は、公演会場内および活動報告写真への一部の映り込みの範囲内でのみ許諾します。
028	著作物の「改変」について	[著作物①（台本）][著作物②（楽譜）]オープンソースとして、当作品（いつものイロ）としての著作が保持される条件内（下記参照）で上演台本および楽譜の改変を認めます。条件は下記の通りですが、後述の「ミルケ・アーカイブスにおける「オープン・ソース」について、もご参照ください。
		【著作の保持のための条件】 □著作物の権利は改変後も著作者に付随します。改変後の著作物はあくまで二次的著作物としての取扱いとなり、改変者が原著作権を主張することはできないことを理解した上で改変をお願いいたします。 □改変を行った二次的著作物での上演を行う際は、ミルケ・アーカイブス事務局への事前報告を行った上で、「ミルケ・アーカイブス オープンソース許諾による改変台本・楽譜にて上演」の旨を、①二次的著作物および②公演案内物（チラシ・ポスター・WEB・当日パンフレット等）に記載いただきます。公演案内物についてはミルケ・アーカイブス事務局の事前許諾を得てから公表してください。 □二次的著作物はミルケ・アーカイブス事務局まで提出をしてください。内容を確認の上、事務局および著作者が認める場合、ミルケ・アーカイブス内において二次的著作物として登録の上、無償での再頒布を行えるようにいたします。 □第3者への有償依頼による改変はできません。 □改変者による二次的著作物の公表・販売はできません（再頒布については前述の通りです）。 □改変が技術的な理由（楽譜のキーが合わないなど）の場合、著作者にて無償で対応できる場合がございます。お気軽にご相談ください。
029	上演時のクレジットについて	上演を行う場合、公演案内物に下記のクレジットの記載を行ってください。 ■脚本・作詞：中原和樹 作曲：伊藤駿 ■「ミルケ・アーカイブス」によるオープンソース作品利用（028にて記載の改変を行った場合のみ） ■ミルケ・アーカイブス オープンソース許諾による改変台本・楽譜にて上演
030	その他上演にあたっての制約	

【ミルケ・アーカイブスにおける「オープンソース」について】

当作品は、YCC県民文化ホールアーティスティック・アドバイザーおよび本作品の著作者である中原和樹氏の提案により、ソフトウェア開発における「オープンソース」の概念を部分的に導入した形で運用を行います。自由な作品利用の取り組みが山梨の文化振興の基盤となることを願う実験的な取り組みとして実施をいたします。当作品がオープンソースとして重要視している概念は下記の通りです。

(1) 無償であること——作品をプロアマ問わず、幅広い実演家に利用いただけるようにするミルケ・アーカイブスの願いと共に鳴しながら、作品を無償で公開しています。オープンソースとして認める改変についても、無償での取り組みの範囲内に留めることができます。

(2) 著作者の権利が守られること——オープンソースは著作権を放棄することではなく、一定の条件下で著作物を自由に使用できることを認めるシステムです。本作は実験的に音楽劇として制作された作品のオープンソース化の取り組みを行いますが、作品の著作権はいかなる場合でも原著作者に帰属するというオープンソースの原則が脅かされることはありません。

(3) 無保証であること——作品の改変において発生する問題について、著作者および事務局では一切の責任を負いません。

2510-ITSUMONIRO

音楽劇『いつものイロ』

取扱い情報

031	資料の閲覧について	[利用様式1]閲覧申請書をご提出ください。確認後、ミルケ・アーカイブス事務局より、台本および楽譜を送信いたします。
032	資料の公演利用について	事務局から閲覧時に添付される「[利用様式2]公演利用申請書」をご提出ください。確認後、ミルケ・アーカイブス事務局より、台本および楽譜を送信いたします。
033	共有できる付随資料について	調整中